

伝承メルヘンで歴史比較

竹原奈教 大教授 定年退官前に最終講義

日本有数のドイツ伝承メルヘン研究者で奈良教育大学教授の竹原威滋さんが、三月末の定年退官を前に、奈良市高畑町の同大学で最終講義を行った。

同教授は「メルヘン研究四十年―出会いの人生」と題して、自身の研究人生や世界各地



伝承メルヘンについて講義する竹原教授＝奈良市高畑町の奈良教育大学

の類似メルヘンを検証

する「地理歴史的比較研究」などを解説。学生や卒業生、国内外の民話研究者ら約百二十人が聴講した。同教授は昭和四十七年から奈良教育大学に勤務。比較民話研究会やドイツの民間伝承を研究する「グリムと民間伝承研究会」を立ち上げ、活発に活動している。

竹原威滋教授最終講演 写真

